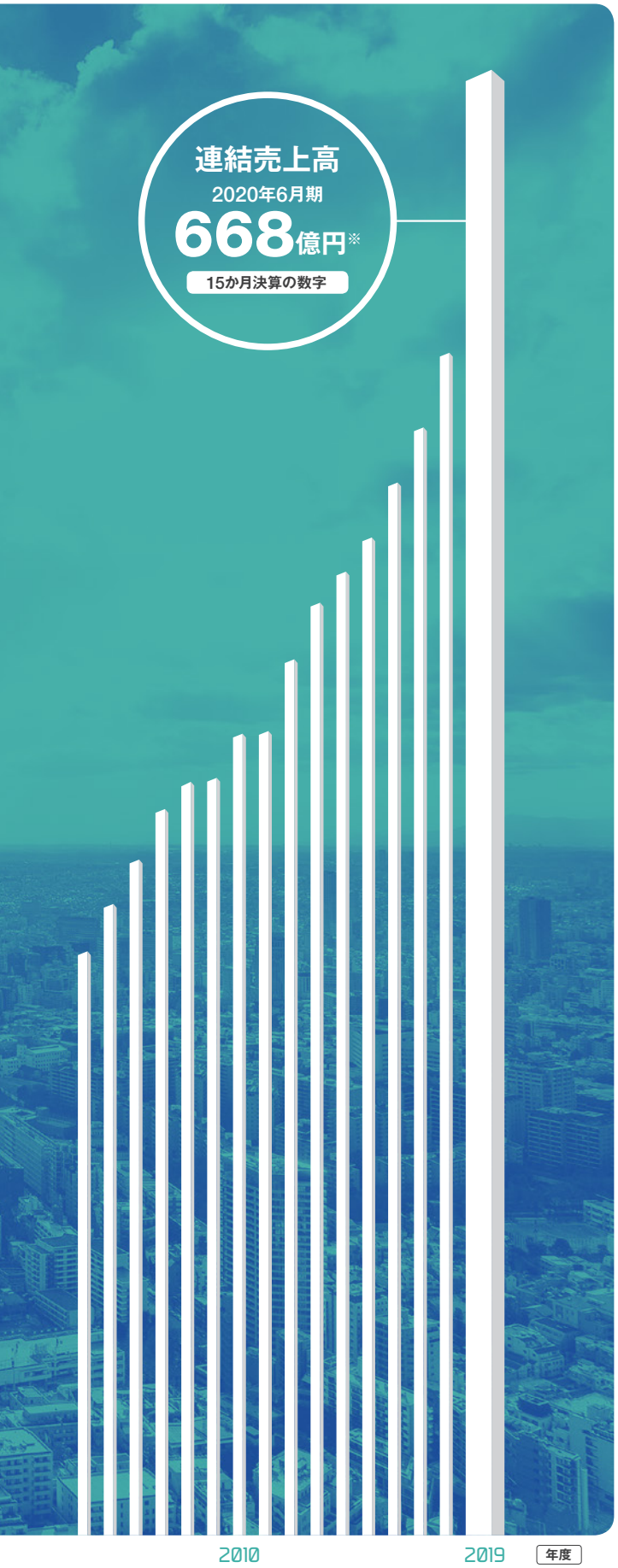
インテージグループは

パネル調査を基幹とし、業界・サービス・対応領域の拡張により成長

変えないこと
私たちのDNA

- 中立的な立場
- 生活者の理解
- 「人」を重視する考え方

※決算期変更について
2019年度は、決算期変更に伴い2019年4月1日から2020年6月30日の15か月間となっておりますので、金額は当該期間のものとなります。
従来は毎年4月1日から翌年3月31日までとしておりましたが、当社グループにおいては1月から3月の事業繁忙期を避けた時期に決算期を移行することにより、
事業運営の効率化を図ることを目的として変更をいたしました。2019年度は移行期による変則決算でしたが、2020年度からは毎年7月1日から翌年6月30日までの12か月間となります。



写真上から 2010年代 御茶ノ水オフィス／2000年代 英徳知市場諮詢（上海）有限公司のオフィス／1990年代 SCIシステム画面／1980年代 ひばりヶ丘2階オンライン端末／1970年代 ひばりヶ丘本社（当時）／1960年代 IBM1401型計算機

2020s

2010s

持ち株会社制へ移行。コミュニケーション領域やビッグデータを活用した新サービスの開発に注力

2020年 株式会社データスプリングを子会社化
2018年 株式会社協和企画、エヌ・エス・ケイ株式会社を買収
株式会社ビルドシステムを買収／INTAGE USA Inc.を設立
2016年 INTAGE Open Innovation投資事業有限責任組合を設立
2013年 持ち株会社制に移行／INTAGE SINGAPORE PTE. LTD. を設立／CONSUMER SEARCH HONG KONG LIMITEDを買収
2012年 株式会社医療情報総合研究所を買収

2000s

アジア各国における事業基盤を構築、ヘルスケア事業を拡張

2010年 創業50周年
2008年 アジア第二の拠点としてINTAGE（Thailand）Co., Ltd.を設立
2007年 ティー・エムマーケティング（現・株式会社インテージヘルスケア）を買収により医療用医薬品のリサーチを本格化
2005年 秋葉原に本社を移転
2002年 インターネット事業を本格化／英徳知市場諮詢（上海）有限公司を設立。アジア市場への進出
2001年 株式会社インテージに社名変更／JASDAQ市場に上場
2000年 IBRD JAPAN株式会社（現・株式会社インテージヘルスケア）買収によりCRO事業に本格的に参入

1990s

スキャニングシステムや小売店パネルに着手。インターネット時代の到来に合わせ、システム構築に取り組む

1994年 全店POSによるSRI（全国小売店パネル調査）開始
1992年 SCIスキャニングシステムを開始

1980s

システム事業の伸長とPOSプロジェクトの開始で経営再建

1987年 売上高100億円を突破
1980年 POSプロジェクトを開始

1970s

経営危機の中、「調査事業」「システム事業」「インプット事業」で売上を維持

1973年 東京・ひばりヶ丘に本社ビル竣工

1960s

創業時、パネル調査開始に合わせて大型システムを導入。総合情報企業への飛躍の契機に

1965年 インプット（データのPC入力）事業を開始
1964年 SCI（全国消費世帯パネル調査）開始
1963年 IBM1401を導入、総合情報企業への基盤を構築
1960年 株式会社社会調査研究所を創業
SDI（全国一般用医薬品パネル調査）を開始